

たてばやし 市議会だより

編集：館林市議会報編集委員会



新型コロナウイルス
感染症情報はこちら

3月 定例会

館林市事務分掌条例の一部を改正する条例など
23議案が決まりました

主な掲載記事

- 本会議のあらまし…………… 2～3ページ
- 予算特別委員会…………… 4ページ
- 議員個人の賛否結果一覧表…… 5ページ
- 一般質問 (10人)…………… 6～11ページ
- 常任委員会の審査報告…………… 12ページ



館林市議会ホームページ
<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>

「里沼の木道コース」

橋本喜男さん応募作品

本会議のあらまし

令和8年館林市議会第1回定例会は、3月6日から25日までの20日間の会期で開かれました。
この定例会に市長から提案された議案等は追加議案も含め24件で、審議の結果、いずれも原案のとおり同意、承認、可決されました。その他、委員会提出議案1件、請願1件の審議が行われました。

人事案件

▽諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
委員の大拙輝一さんが、本年6月30日をもって任期満了となるが、再推薦したいとして、人権擁護委員法の規定により、議会に意見を求められたもので、推薦につき全員一致で同意されました。

▽諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
委員の上山晴美さんが、本年6月30日をもって任期満了となるが、再推薦したいとして、人権擁護委員法の規定により、議会に意見を

条例の制定

求められたもので、推薦につき全員一致で同意されました。

▽議案第9号 館林市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、0歳6か月から満3歳未満までの未就園児が、保護者の就労要件を問わず利用可能枠の中で保育所等を利用することができ特定乳児等通園支援事業を給付制度として実施するに当たり、事業者として満たすべき基準を定める条例を制定するもので、全員一致で可決されました。

条例の改正

▽議案第3号 館林市事務分掌条例の一部を改正する条例
組織機構改革による事務分掌の変更等に伴い、主に、市税の賦課・徴収は自治体における財源確保の根幹をなすものであるため、政策企画部税務課及び納税課で行っている事務を、本市運営の基礎的な部分を支える総務部の分掌する事務とするため、また、まちづくりに関わる多様な主体の連携を円滑かつ強固なものとするため、総務部行政課で行っている館林市区長協議会事務局等の事務を市民環境部の分掌する事務とするため、本条例の一部を改正するもので、賛成多数で可決されました。

▽議案第4号 館林市防災会議条例の一部を改正する条例
教育委員会事務局において、「教育委員会事務局」の名称を「教育部（教育委員会事務局）」に変更したことに伴い、本条例の一部を改正するもので、全員一致

で可決されました。

▽議案第5号 館林市行政手続条例の一部を改正する条例
デジタル社会の形成を図るための規制改革を推進するためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴い、行政手続において、聴聞等の意見陳述手続の通知を公示送達によって行う場合の方法について、インターネットによる公表に加え、従来の掲示場への掲示又は事務所に設置したパソコン画面での閲覧を併用する方法に改めるため、本条例の一部を改正するもので、全員一致で可決されました。

▽議案第6号 館林市手数料条例の一部を改正する条例
コンビニエンスストア等における住民票の写し等の交付に係る手数料の額を引き下げるに当たり、多機能端末機を利用することにより交付を受ける証明書に係る手数料の額を、1件又は1通につき200円とするため、本条例の一部を改正するもので、全員一致で

可決されました。

▽議案第7号 向井千秋記念子ども科学館条例の一部を改正する条例
施設の変更及び新たに施設の貸出しを行い、地域資源としての利活用を促進するほか、機器の更新等に伴う料金の見直しを行うに当たり、施設の名称を「たてばやし向井千秋記念子ども科学館」に変更するため、及び、プラネタリウム観覧料等の料金を改定するため、並びに、プラネタリウムドーム等の貸館の実施に伴う使用許可の要件及び使用料を規定するため、本条例の一部を改正するもので、賛成多数で可決されました。

▽議案第8号 館林市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、規定中の文言等の整理を行うため、本条例の一部を改正するもので、全員一致で可決されました。

▽議案第10号 館林市国民健康保険条例の一部を改正する条例(子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い、医療保険料と併せて徴収する、子ども・子育て支援金制度の創設に当たり、群馬県内統一の保険税率により、子ども・子育て支援納付金を賦課・徴収するため、本条例の一部を改正するもので、賛成多数で可決されました。

▽議案第11号 館林市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例(渡瀬南部第二産業団地地区計画区域の規定に伴い、建築基準法の規定により、当該地区計画区域内における建築物及び敷地について新たに制限を定めるとともに、既存の建築物に対する制限等を緩和するため、本条例の一部を改正するもので、全員一致で可決されました。

▽議案第12号 館林市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を

改正する条例(引用する高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部改正による条ずれを修正するため、本条例の一部を改正するもので、全員一致で可決されました。

補正予算

▽議案第13号 令和7年度館林市一般会計補正予算(第8号) (寄附金の受入れに伴う予算化のほか、年度末までの状況を見通した事業費を補正するため、4億8025万3000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ344億6602万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽議案第14号 令和7年度館林市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (261万7000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ79億3153万5000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽議案第15号 令和7年度館林市介護保険特別会計補

正予算(第3号) (2384万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ71億1466万3000円とするもので、全員一致で可決されました。

追加議案

▽議案第22号 令和7年度館林市一般会計補正予算(第9号) (国の令和7年度補正予算(第1号)に伴い、小学校施設整備事業を追加するため、7887万5000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ345億4490万3000円とするもので、全員一致で可決されました。

専決処分

▽議案第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和7年度館林市一般会計補正予算(第6号)) (国の交付金を活用し実施している、ぽんちゃんPAYPレミアムキャンペーンの需要を勘案し、デジタル地域通貨発行事業を追加するため、歳入歳出予算において、1億1500万円を追加し、

委員会提出議案

▷委員会提出議案第1号
物価上昇に見合う年金の改善を求める意見書(全員一致で可決)
【全文】
米不足や円安による物価高騰が国民の命と暮らし、地域経済に深刻な影響を与えています。
また、生活の糧である公的年金は過去14年で実質約10%も引き下げられ、生活困難な高齢者が増え、生活保護を受けざるを得ない人たちも増えています。さらに医療費や介護保険料の負担増などで、年金受給者の生活は一層深刻になっています。よって、国において年金暮らしでも安心して老後を暮らせるよう、物価上昇に見合う老齢基礎年金に改善することを求めます。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

提出先=内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長

請願の審議結果

▷請願第12号 「物価上昇に見合う年金の改善を求める意見書」を国に送付することを求める請願
=意見書が可決されたことにより、みなす採択となりました。

▷請願第13号 mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業の中止の意見書提出を求める請願書
=賛成少数により不採択となりました。

歳入歳出予算の総額をそれぞれ349億1665万8000円とする補正予算を専決処分し、地方自治法の規定により、議会に対し承認を求められたもので、全員一致で承認されました。

令和8年度予算

▽議案第16号 令和8年度館林市一般会計予算(総額は、339億8000万円、前年度比、20億3000万円、6.4%の増となっており、一般会計及び特別会計の合計は、544億8625万2000円で、前年度比、33億4623万7000円、6.5%の増となっています。(詳細は4ページに掲載)

▽議案第2号 専決処分の承認を求めることについて(令和7年度館林市一般会計補正予算(第7号)) (第51回衆議院議員総選挙の執行に伴い、2962万3000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ349億4628万1000円とする補正予算を専決処分し、地方自治法の規定

予算特別委員会

3月9日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。令和8年度一般会計予算をはじめ、4つの特別会計予算及び下水道事業会計予算が付託され、3月16日から18日の3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、介護保険特別会計予算及び後期高齢者医療特別会計予算は賛成多数で、渡瀬南部第二産業団地造成事業特別会計予算及び下水道事業会計予算は全員一致で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市長の提案説明による主要な施策

『危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち』

災害時用品の計画的な備蓄や自主防災活動の支援に引き続き努めるほか、関係機関等と連携した市総合防災訓練を実施し、地域防災力の向上を図ってまいります。また、ごみステーション設置等補助金を創設し、ごみの減量化や適正処理を推進してまいります。さらに、脱炭素ライフスタイル推進補助金を創設し、家庭における温室効果ガス排出抑制や災害時の停電に備えるための支援を拡充するほか、公共施設における計画的かつ効果的な太陽光発電設備等の導入に向けた調査を実施いたします。

『地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち』

高校生世代までの医療費無料化を引き続き実施し、子育て支援を推進するほか、生活困窮者自立支援事業を実施し、生活に困窮されている方に対し、早期の自立促進を図るとともに、支えあふ地域づくりを推進してまいります。また、野菜摂取推進店（ベジ活応援店）登録制度や運動啓発事業等の健康づくりを通じ、健康寿命の延伸に努めてまいります。さらに、各種健康診査やがん検診等を実施し、早期発見・早期治療を推進するほか、RSウイルス感染症予防のための母子免疫ワクチン接種を新たに実施するなど各種予防接種の推進に努めてまいります。

『育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち』

こども食堂支援事業補助金を創設し、子どもの居場所づくりに取り組む団体を支援するなど、地域での見守り体制を推進してまいります。また、妊婦初産科受診料の助成や乳幼児健康診査において新たに5歳児健診を追加するなど、母子の健康保持・増進と経済的負担軽減を図るほか、子育て支援誕生祝品の給付や産後ケア事業など、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進するとともに、小・中学校給食費の完全無償化を実施し、子育て世代の経済的支援及び少子化対策に努めてまいります。さらに、小・中学校児童生徒用一人一台端末の更新、小学校の屋内運動場の空調設備設計及び中学校の屋内運動場空調設備設置工事を実施し、教育環境の向上に努めるほか、日本語指導助手を増員するとともに、日本語学習プレクラスを新たに設置し、日本語指導を必要とする児童生徒に対して日本語の初期指導及び学校適応指導を行い、円滑な学校生活のスタートを支援してまいります。加えて、日本遺産推進事業において、引き続き「里沼」を生か

した体感型の事業を展開するほか、館林市日本遺産推進協議会が実施する普及啓発活動や人材育成を支援するなど、シビックプライドの醸成、ブランド力向上及び交流・定住人口の増加に努めてまいります。

『都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち』

企業誘致による税収、定住人口の増加を図るため、新たに渡瀬南部第二産業団地造成事業に取り組むほか、住宅リフォーム資金助成金やデジタル地域通貨の発行など、地域経済の活性化に努めるとともに、中央通り線出店促進事業の実施や創業支援事業補助金などにより、まちなかの活性化や創業者の支援に努めてまいります。また、アライグマ等野生動物による農作物被害を防ぐため、害獣駆除を強化するほか、新規作物導入支援事業費補助金を引き続き実施するなど、地域農業の担い手や新規就農者を支援してまいります。さらに、マイナンバーカードを活用した高齢者等タクシー料金助成事業により、制度の充実を図るほか、茂林寺前駅西口を引き続き整備し、駅利用者の利便性の向上に努めるとともに、館林駅東地区のまちなか再生未来ビジョンを策定し、まちなかのにぎわい創出によるウォーカブルなまちづくりに取り組みます。加えて、つつじが岡公園内イルミネーション事業やつつじが岡ふれあいセンターのウォールプロジェクトシステム導入など平地型リトリートを推進し、交流人口の増加に努めます。

『公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち』

シティプロモーション推進方針に基づき、本市が持つ潜在的な魅力を引き出し、広報紙やホームページ、SNSなどによる積極的、効果的な情報発信に努めるなど、関係・交流人口の創出、シビックプライドの醸成を図るほか、わくわく地方生活実現支援金や定住促進通学支援金などを引き続き支給し、移住定住の促進に努めてまいります。また、ふるさと納税制度を活用し、自主財源を確保するとともに、本市の特産品を返礼することにより地域振興を図るほか、本市の持つ魅力を効果的にPRし、寄附額のさらなる増加に努めます。さらに、日本語教室指導者の技術力向上を図るため指導技術研修を拡充し、多文化共生社会の形成を推進してまいります。加えて、DX推進アドバイザーを活用しながら、デジタル技術による業務の効率化を推進するとともに、市公式LINEなどによる申請手続きや情報発信の充実を図り、行政サービスの向上に努めてまいります。

令和8年度 一般会計予算

歳入			歳出		
項目	予算額(千円)	構成比(%)	項目	予算額(千円)	構成比(%)
市税	12,510,179	36.8	総務費	3,377,861	9.9
地方交付税	3,610,000	10.6	民生費	11,615,996	34.2
国庫支出金	4,899,393	14.4	衛生費	4,371,382	12.9
県支出金	2,739,173	8.1	商工費	2,443,765	7.2
繰入金	3,068,468	9.0	土木費	3,296,992	9.7
諸収入	1,432,956	4.2	教育費	4,548,092	13.4
市債	2,009,000	5.9	公債費	2,393,111	7.0
その他	3,710,831	11.0	その他	1,932,801	5.7
計	33,980,000	100.0	計	33,980,000	100.0

令和8年度 特別会計予算

会計別	予算額(千円)	
国民健康保険特別会計	7,875,069	
介護保険特別会計	7,233,943	
後期高齢者医療特別会計	1,583,950	
渡瀬南部第二産業団地造成事業特別会計	739,972	
下水道事業会計	収益的支出	1,617,519
	資本的支出	1,455,799

令和8年第1回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議案等名	議席番号		議員名																結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17	18		
	小林但弥	池森のり子	飯島一志	岡野陽子	堀口ぎく枝	岩上博志	野本泰生	田辺純子	柴田信	平井玲子	川村幸人	渋谷理津子	権田昌弘	斉藤貢一	篠木正明	遠藤重吉	野村晴三		
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	推薦につき同意	
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	推薦につき同意	
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて（館林市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	承認		
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて（館林市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	承認		
議案第3号	館林市事務分掌条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-	○	○	●	○	原案可決		
議案第4号	館林市防災会議条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第5号	館林市行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第6号	館林市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第7号	向井千秋記念子ども科学館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	●	原案可決		
議案第8号	館林市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第9号	館林市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第10号	館林市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	-	○	○	●	○	原案可決		
議案第11号	館林市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第12号	館林市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第13号	令和7年度館林市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第14号	令和7年度館林市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第15号	令和7年度館林市介護保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第16号	令和8年度館林市一般会計予算	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	-	○	○	●	○	原案可決		
議案第17号	令和8年度館林市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第18号	令和8年度館林市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第19号	令和8年度館林市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第20号	令和8年度館林市渡瀬南部第二産業団地造成事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第21号	令和8年度館林市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
議案第22号	令和7年度館林市一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
委員会提出議案第1号	物価上昇に見合う年金の改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	原案可決		
請願第13号	mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業の中止の意見書提出を求める請願書	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	-	●	○	●	●	不採択		

※渋谷理津子議長は採決に加わりませんので「-」となっています。

【○：賛成 ●：反対】

3
月
10
日

柴田 信 議員 (7ページ)

- 外国籍児童生徒のための「プレクラス」設置について
- 「学びの多様化学校」の設置について

岩上 博志 議員 (7ページ)

- 日本遺産「里沼」について
- 学校適正規模・適正配置について

平井 玲子 議員 (8ページ)

- 全世代にわたる情報リテラシー向上の取組について

堀口 きく枝 議員 (8ページ)

- リチウムイオン電池に対する適正廃棄について
- 小・中学校プールの維持管理と水泳授業について

岡野 陽子 議員 (9ページ)

- RSウイルスワクチンについて
- 地域医療の充実について

3
月
11
日

篠木 正明 議員 (9ページ)

- ゴミ袋の有料化とゴミの減量化について

田辺 純子 議員 (10ページ)

- 保育のDX化について

斉藤 貢一 議員 (10ページ)

- まちづくりの基本戦略について

池森 のり子 議員 (11ページ)

- 子どもの安全を守る対策と生活環境整備について

飯島 一志 議員 (11ページ)

- 大島工業団地周辺の道路整備について
- 地区役員・団体のあり方について
- 持続可能なまちづくりの総括について

今定例会における一般質問は、3月10日・11日の2日間にわたり行われ、10人の議員が市政全般に対する諸問題について市の所信をただしました。

内容は広範にわたっており、その要旨を掲載いたします。

(本文は質問者本人の責任をもって要約したものです。)

一
般
質
問

スマートフォンやタブレットからも視聴できます！

市議会のHP ホームページ をぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html>



市議会トップページ



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>
 なお、各議員の質問の様子は次のページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。



←会議録の検索はこちら

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。
 ※3月定例会の会議録は6月上旬頃掲載予定です。



外国籍児童生徒のための「プレクラス」設置と「学びの多様化学校」の設置について

柴田 信 議員



質問 本市における外国籍児童生徒のための「プレクラス」について問う。

答弁 近年、外国籍児童生徒の転入が増加し、日本語指導を必要とする児童生徒が増えています。その中には言葉や生活習慣の違いから、学校生活への適応に困難を抱える児童生徒も多く、初

期段階のつまずきが、その後
の学校生活への不安や学習
の遅れにつながるものが懸念
されます。このような状況
を踏まえ、初期の日本語指
導及び学校適応指導を集中
的に行うこと、指導員や子
ども同士の関わりを通じて、
安心感や自己肯定感を育む
ことを目的として、教育研

究所内に日本語学習プレク
ラス「つつじみらい教室」を
設置するものです。成果指
標としては、在籍校へ本格的
に登校してから3か月間の登
校継続率の確認や、必要に
応じて在籍校担任に学校適
応状況のヒアリングを行うな
どの検証を行います。

質問 本市における「学びの多様化学校」の取組について問う。

答弁 文部科学省が推進する「学びの多様化学校」い
わゆる不登校特例校では、

摘や改善を求められたのか
伺います。

答弁 日本遺産を活用して
課題をどう解決し、観光振
興や地域活性化につなげる
のか、その方向性の明確化
と具体化、併せて持続可能
な自然資源の保全方法を検
討し、具体化すること。里
沼が育んだ文化を基に、産
業創造や経済活性化の方向
性を示すこと。里沼の環境
やブランドの質を守る方策
と体制の充実を図ること。
これらが主な指摘事項です。

質問 学校適正規模・適正
配置基本方針（案）におい
て、適正規模にするメリッ
トを伺います。

答弁 クラス替えが可能に
なることにより、児童生徒
が多様な人間関係を構築で
き、集団の中で多様な考え
方に触れることで、表現力
や思考力、判断力、問題解
決能力などを育み、社会性
や規範意識を身につけるこ
とができる環境が整います。
また、学年ごと、教科ごと
に複数の教員の配置が可能

在籍する児童生徒が、個々
の実情にあわせた教育を受
けながら、通常の小・中学
校や高等学校と同様の卒業
資格を取得することが可能
であり、不登校児童生徒支
援の社会的自立に向けて、
新たな選択肢になるものと
捉えています。学校に行き
たくても行けない子ども達
の学ぶ権利を保障することは、
行政としての重要な責務と
考えており、本市の不登校
児童生徒が増加傾向にある
中で、これまでの支援策だ
けでなく、学びの多様化学
校の設置について研究をし
ていく必要もあると考えて
います。一方で、実際に学
びの多様化学校を設置、運
営するためには、既存施設
の活用や新設を含めた設置
場所の選定、専門的なスキ
ルを持つ教職員の確保、継
続的な運営に係る予算の確
保などの課題があげられま
す。先進事例を参考にしな
がら、本市の実情に即した
導入が可能か研究を進めて
いきたいと考えます。

となり、教員同士が連携し
た指導方法の改善や、きめ
細かな指導を可能にする教
員数が確保されることも重
要な効果です。

質問 学区再編を含めた適
正配置を、何年後に達成す
るといった目標を掲げていく
のか伺います。

答弁 地域の実情や保護者
の皆様のご意見を踏まえな
がら、エリアごとの基本計
画を策定していく中で、達
成目標年度についてお示し
できればと考えています。



日本遺産「里沼」について 学校適正規模・適正配置について

岩上 博志 議員



質問 館林には様々な観光資源がありますが、今後、「面白いだろうな」と検討している取組を伺います。

答弁 本市が舞台の一つ
になっているテレビアニメ
「宇宙（そら）よりも遠い場
所」、通称「よりもい」のマ
ンホール製作を進めていま
す。将来的には、よりもい

の図柄のマンホールを実際
に設置し、アニメファン等
に足を運んでもらい、市内
の各スポットを回遊しても
らおうと計画しています。

質問 文化庁による日本遺
産「里沼」の総括評価・継
続審査が行われ、無事に「認
定継続」となりました。審
査において、どのような指



全世代にわたる情報リテラシー向上の取組について

平井 玲子 議員



質問 情報を正しく見極め、主体的に活用する力、いわゆる情報リテラシーは、全ての世代にとって重要で、学校における情報リテラシー教育の現状は。

回答 情報スキル、情報リテラシー、プログラミング的思考、情報モラルの4つを設定し、発達段階に応じた系統的な指導、警察や関係機関と連携した情報モラル講習会の全校実施、間バイト問題等に関する注意喚起に加え、児童生徒が相談できる体制も整えています。

質問 情報スキル、情報リテラシー、プログラミング的思考、情報モラルの4つを設定し、発達段階に応じた系統的な指導、警察や関係機関と連携した情報モラル講習会の全校実施、間バイト問題等に関する注意喚起に加え、児童生徒が相談できる体制も整えています。

質問 フェイクニュース・生成AIへの対応は。

回答 現在、児童生徒のタブレットにおいては、生成AIを使用できる設定にはしていません。一方、教職員は使用可能としており、生成AIの特性を熟知した上で、フェイクニュースへの対応も含め、その知見を子どもたちの情報活用能力の育成や授業改善へと積極的に還元・展開していく段階にあると考えています。

質問 デジタル・シティズンシップ教育の方向性は。

回答 教科横断的な学びへの統合、子ども主体のルールづくり、家庭・地域との

質問 近年、全国的に学校プールの老朽化が進み、維持管理の負担が課題となっています。また、水泳授業に伴う教職員の負担や少子化問題等の課題もあります。少子化による児童生徒の減少に対応するため、館林市立学校適正規模・適正配置審議会にて計画・検討が進められています。その先



リチウムイオン電池に対する適正廃棄について 小・中学校プールの維持管理と水泳授業について

堀口 きく枝 議員



質問 リチウムイオン電池のごみの廃棄による火災事故が全国的に多発しています。市民への周知徹底と外国人住民の方々への周知も大切であり、要望したいと思いますが、本市の取組は。

しているほか、昨年11月のリチウムイオン電池火災防止月間では、市公式ホームページ・X・LINEや、ケーブルテレビでの啓発を実施、さらに、令和8年度からは、每户配付している分別収集カレンダーに、回収拠点一覧を検索できるQRコードを掲載するなど継続的な啓

回答 市公式ホームページにて、回収協力店や適正な取扱い方法等を通年で発信

質問 近年、全国的に学校プールの老朽化が進み、維持管理の負担が課題となっています。また、水泳授業に伴う教職員の負担や少子化問題等の課題もあります。少子化による児童生徒の減少に対応するため、館林市立学校適正規模・適正配置審議会にて計画・検討が進められています。その先

対話の場の確保、これらの取組を通じ、生成AIを含むICTを賢く使いこなし、社会に貢献できる人材を育成していきます。

質問 SNS型詐欺の被害状況は。

回答 令和7年暫定値の県内状況として、SNS型詐欺全体の認知件数は108万件、被害額は約11億8980万円です。被害者の年齢別の状況は50歳代29・6%、60歳代22・2%、70歳以上14・8%、30歳代13・9%、40歳代13%、29歳以下6・5%です。

回答 スマートフォンを使いこなす世代には、行政からの注意喚起が見逃ごされがちです。関係機関との連携を強化していく必要があると認識しています。

質問 現在の啓発は出前講座やチラシ配布など、主に高齢者層に届きやすい手法が中心になっていますが、課題は。

回答 安全上必要な修繕を行いながら、各学校で水泳授業を継続したいと考え、現時点では、民間施設との連携や外部委託に関する計画はありません。

質問 安全上必要な修繕を行いながら、各学校で水泳授業を継続したいと考え、現時点では、民間施設との連携や外部委託に関する計画はありません。

回答 安全上必要な修繕を行いながら、各学校で水泳授業を継続したいと考え、現時点では、民間施設との連携や外部委託に関する計画はありません。

要望 学校現場の負担を減らし、安全で質の高い教育環境の整備を実現するため、長期的な展望に立った外部委託への移行を要望します。





RSウイルスワクチンについてと 地域医療の充実について

岡野 陽子 議員



質問 令和8年4月より、RSウイルスワクチンの定期接種が行われます。ワクチンの予防効果は。

答弁 妊婦に接種することで、抗体が胎児に移行し、生まれた新生児や乳児の下気道疾患を予防します。

質問 ワクチン接種後の副反応について伺います。

答弁 10%以上の方に接種部位の痛みや頭痛、筋肉痛があるとされ、まれにアナフィラキシー等の重篤症状を起す場合があります。

質問 効果と副反応の周知方法について伺います。

答弁 ワクチンの効果と副反応等のリスクを理解していただくため、予診票等を

配付する際に、職員が直接説明をする予定です。効果と副反応の正しい理解のため、さらなる周知方法を検討していきます。

意見 本定例会に「mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める請願書」が提出されました。近い将来、mRNA技術はRSウイルスにも応用されると思われます。妊婦さんが正確な情報に基づき冷静に判断できるよう、しっかりと

り情報発信をしてください。
質問 超高齢社会の現在、かかりつけ医の充実が重要ですが、高齢化の波は、かかりつけ医にも及びます。本市の地域医療の現状は。

質問 地域医療の持続可能性に対しては、医療体制の確保が重要です。医療空白を作らないための今後の地域医療について、市長の考えを伺います。

答弁 市内の日常的に軽症時の診療等ができる医療機関は47機関、館林市邑楽郡医師会所属の医師の平均年齢は64・7歳、60歳以上は29人です。かかりつけ医の医師確保、事業継続に向け、さらに取り組んでいく必要があると認識しています。

答弁 急性期治療から在宅医療・介護まで切れ目なく一体的に提供する体制の継続が地域医療の充実につながると考え、医師会、医療機関、市民と協働し、関係機関と緊密に連携しながら医療の充実、持続可能性の確保に全力で取り組みます。



ゴミ袋の有料化とゴミの減量化について

篠木 正明 議員



質問 ゴミ袋の有料化の目的は何ですか。

答弁 ゴミの減量化とゴミの適正排出、違反ゴミ対策です。分別の標記をした指定袋を使用することで、ルール違反のゴミが一日で判別できるように、指導や啓発が効果的に行えます。

質問 ゴミ袋の料金にゴミ

の処理費用を上乗せするのが有料化ですが、指定袋にすればゴミの処理費用を上乘せしなくても、その効果が得られるのではないのですか。

る考え方があります。
質問 有料化すれば、ゴミの排出量が少ない人も負担が増えるのですから、不満が出るのではないかと思います。

直後には10%から30%程度の減量効果が確認されています。
質問 ゴミの回収量は減るかもしれませんが、ゴミの発生自体を少なくしなければ、回収量が減った分はどこに行ったのかという問題があります。それが不法投棄につながる懸念があります。また、ゴミ袋を有料化しても、当初は減るけれど、数年すると増えてきます。一時的にゴミを減らすために、市民負担を増や

してよいのかと思います。
ゴミ袋を有料化する前にやるべきことは残っています。分別を徹底すれば、可燃ゴミを6割減らせる可能性があります。生ゴミを資源化すれば、もっと減らせます。そこに力を入れるべきではないのですか。
答弁 これまでに、いろいろな手段でやってきました。引き続きの周知啓発とともに、様々な施策を考える時期になっていると感じています。



保育のDX化について

田辺 純子 議員



質問 館林市DX推進計画にある「保育の質の向上」をどのように図るのか。

することは。

答弁 業務効率化で生み出された時間は、子どもと向き合う時間の充実に充てられ、より丁寧な保育の実践につながっています。

答弁 保護者からの連絡、登降園管理、お知らせ一斉配信、連絡帳の4機能です。

質問 保育ICTシステム「コドモン」導入で、でき

質問 今後、利用する機能を広げていくのか。

答弁 保護者へのアンケート機能、記録と計画機能、請求管理機能の利用を予定しています。

質問 初期設定の情報の提供内容と打ち込み作業は。

答弁 保護者自身による入力情報は保護者氏名とメールアドレスの2種類で、子ども課が登録する情報は、園児氏名、振り仮名、生年月日、クラス、性別、郵便番号、住所、入園日、卒園予定日の9種類です。

質問 「コドモン」のホームページには、登録した個人情報はお客様及びお子様に対して最適なサービスの提供、サービスの改良、最適なサービスの開発のため利用するとあり、これは個人情報利用の目的外利用に該当しますが、個人情報の保存期間を伺います。

答弁 1年間と10年間の2通りで、10年保管は、登降園の打刻データや保護者からの連絡情報など、記録と

質問 「コドモン」のホームページには、登録した個人情報はお客様及びお子様に対して最適なサービスの提供、サービスの改良、最適なサービスの開発のため利用するとあり、これは個人情報利用の目的外利用に該当しますが、個人情報の保存期間を伺います。

答弁 1年間と10年間の2通りで、10年保管は、登降園の打刻データや保護者からの連絡情報など、記録と

質問 「コドモン」のホームページには、登録した個人情報はお客様及びお子様に対して最適なサービスの提供、サービスの改良、最適なサービスの開発のため利用するとあり、これは個人情報利用の目的外利用に該当しますが、個人情報の保存期間を伺います。

答弁 1年間と10年間の2通りで、10年保管は、登降園の打刻データや保護者からの連絡情報など、記録と



まちづくりの基本戦略について

斉藤 貢一 議員



質問 コンパクトシティの推進・ウォーカーブルなまちづくり・にぎわいの創出を目的に、館林駅東エリアプラットフォームがまちづくり団体や商業団体など9団

実験を行いながら、「未来ビジョン」を策定することになったのか。

答弁 市民センターエリア・館林駅東口エリア・歴史的建造物集積エリアの中で

明確なテーマ性と連続性を持つ区域として、歴史の小径を中心としたエリアに焦点をあて、未来ビジョンの策定

あったが、なぜ「歴史の小径エリア」に限定し、実証

に向けて検討をしています。その効果はエリア全域に波及すると考えています。

質問 「歴史の小径」事業は平成14年度から、まちづくり総合支援事業として整備されてきましたが、現状は

失われつつあります。他の2エリアについても、実証実験やワークショップを開

催しながらのビジョン策定には疑問を感じます。過去には、市民センターエリアで、県有施設等の公的不動

産の活用による公共施設の再編可能性検討業務委託が行われ、再編の可能性が見いだされたこともありまし

た。立地適正化計画の中の「歴史の小径」の位置づけや市民センターのメタボリズム建築の保存等の方針は、国庫補助を活用するために、誘導されたものだと思います。「未来ビジョン」は市が約束する住環境であり、にぎわいです。館林市には、実証実験を行いながら「未来ビジョン」を

しての性質が強い情報です。

質問 保存期間10年の必要性と根拠は。

答弁 システム会社では10年間とされていますが、保存期間内であっても、こども課においてデータ削除が可能です。今後、明確な運用ルールを策定していきたい。

要望 個人情報権利として守られ、当事者が十分な検討と選択ができるようにすべきです。そして、保育のICT化には慎重な姿勢で臨んでほしい。

策定 するような時間はありません。私は「市民センターエリア」を中心に3エリア同時に進めるべきだと思いましたが、考えを伺います。

答弁 施設の複合化を検討する対象エリアは、館林駅東口周辺エリアや市民センター周辺エリアが考えられます。今後、まちなか公共施設再編の検討状況や立地適正化計画との整合性を踏まえながら、エリアプラットフォームにおいても整理・検討していきたいと考えます。



子どもの安全を守る対策と生活環境整備について

池森 のり子議員



質問 管理不全の空家等の把握状況と周辺環境への影響について伺います。

答弁 空家等実態調査では、市内の総住宅戸数3万3708戸のうち1733戸が空家であり、その空家のうち約4%が、管理不全空家または特定空家等になり得る可能性があります。

管理不全状態にある空家は、安全上の危険や住環境を損なうなど、地域住民の生活環境に大きく影響すると認識しています。

意見 管理不全の建物が子どもたちの生活動線にある場合、安全上の懸念が生じます。関係機関や地域との連携を大切にしながら実

効性ある取組が進められることを期待しています。

質問 通学路の安全確保には、環境面と人的取組の両面が必要です。地域の防犯活動である、青色パトロー

ルカーの目的を伺います。

答弁 青色防犯パトロールは、地域巡回により犯罪の抑止を図るほか、子どもの見守りをはじめとする、地域の方々が主体となった活動を通じ、地域全体の防犯力の底上げや防犯意識の向上、安全な地域づくりを推

進することを目的としています。

質問 地域の目で、子どもたちを守るために重要な「子ども安全協力の家」の取組状況を伺います。

答弁 「緑色ののぼり旗」を軒先に掲げていただき、下校時、子どもたちが困った時に駆け込める安全・安心な場所を提供しています。

質問 子どもの安全を守るには、将来を見据えた生活環境整備が重要です。市政運営にどのように位置づけ

していくのか市長の考えを伺います。

答弁 子どもたちが笑顔で暮らせる館林を、市民、そして幅広い関係者の皆様とともに築いていきたいと考えています。

意見 子どもたちが安心して暮らせるまちづくりは大人の責任であり、本市の価値向上にもつながります。市長のリーダーシップの下、笑顔あふれるまちづくりの更なる前進を期待します。



大島工業団地周辺の道路整備、地区役員・団体のあり方、持続可能なまちづくりの総括について

飯島 一志議員



質問 大島工業団地周辺の道路整備について、東北自動車道脇の側道へ入る際の右折レーンを整備する考えを伺います。

では、団地西側に整備する南北道路を南に向かい、側道へ案内する方法を検討していきます。

答弁 道路幅員に制限があるため、右折レーンの設置が構造上困難な状況です。そのため、インターチェンジ方面に向かう車両に対し

要望 地域の皆さんから苦情が出る前に、時差式信号の設置は、すぐに対応していただきたいと思えます。

質問 ライトコミュニティーの受け止めについて伺い

ます。

答弁 公共性の高い活動と希望者が参加する活動を区分するなど、段階的なアプローチが不可欠であると考

質問 地区運営に対するアンケートや聞き取り調査を行う考えを伺います。

答弁 アンケートや聞き取り調査を行い、課題の共有を図るという手法は、現場の実情を正確に把握し、議論を深めるための第一歩と

して、大変有意義なものと考えています。

質問 総合計画の策定にあたり、委員の皆様からの評価について伺います。

答弁 計画内容について前向きな評価をいただきました。また、委員の意見が十分に反映された計画になった、との評価をいただきました。

質問 令和8年度の組織機構改革の特徴を伺います。

答弁 1つ目は、財産有効活用課の新設です。2つ目

は、地域魅力創造課の新設。3つ目は、学校適正配置推進室の新設です。

質問 持続可能なまちづくりの実現に向け、今後の展開を伺います。

答弁 移住定住施策を戦略的に進めるための計画策定のほか、都内などの移住定住イベントへの積極的な参画、ショートドラマなどを活用した魅力発信に取り組み、本市PRの強化と関係人口・移住定住人口の増加につなげたいと考えます。



常任委員会の審査報告

総務文教

付託された案件は議案3件で、まず、「館林市事務分掌条例の一部を改正する条例」については、採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと議決されました。

次に、「館林市行政手続条例の一部を改正する条例」及び「館林市手数料条例の一部を改正する条例」については、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

また、安全安心課から、第2次館林都市圏地域公共交通計画(案)について、教育総務課から、館林市教育大綱の策定についての報告がありました。

そのほか、議会から推薦する各種委員会等委員について、館林市手をつなぐ育成会の委員に、柴田信議員と飯島一志議員を選出しました。

市民福祉

付託された案件は議案3件と請願2件で、まず、「館林市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」及び「館林市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例」については、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

次に、「館林市国民健康保険条例の一部を改正する条例」については、採決の結果、賛成多数をもって可決すべきものと議決されました。

また、請願については、「物価上昇に見合う年金の改善を求める意見書」を国に送付することを求める請願の審査では、保険年金課からの参考意見の陳述がなされた後に審査に入り、採決の結果、全員一致をもって

採択すべきものと議決されました。

て採択すべきものと議決されました。

次に、mRNAワクチン(レプリコンワクチンを含む)接種事業の中止の意見書提出を求める請願書の審査では、健康推進課から参考意見の陳述がなされた後に審査に入り、採決の結果、賛成少数により不採択すべきものと議決されました。

そのほか、議会から推薦する各種委員会等委員について、館林市手をつなぐ育成会の委員に、野本泰生議員と岩上博志議員を選出しました。

経済建設

付託された案件は、「館林市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」の1議案で、採決の結果、全員一致をもって可決すべきものと議決されました。

また、報告事項として、下水道課から、館林市下水道事業におけるウォーターPPPの導入についての報告がありました。

そのほか、議会から推薦する各種委員会等委員について、館林市労働教育委員会の委員に平井玲子議員を、館林市都市計画審議会の委員に平井玲子議員と小林但弥議員を選出しました。

議員研修会を開催

去る2月27日、館林市議会議員研修会を開催し、第1部では、館林市の広報専門官である高橋英二氏を講師にお招きし、市議会議員及び市職員を対象に「館林市のブランディング―1年間住んで考えた、これから―」と題し、ブランディングの必要性やデータに基づくマーケティングの重要性など館林市の魅力をより効果的に発信する手法について、ご講演いただきました。

第2部では、ハラスメント防止研修として、「政治分野のハラスメント防止」について教材を視聴しました。



講演の様子

議会を傍聴してみませんか

本会議・常任委員会はだれでも傍聴することができます。議会では皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会を傍聴してください。手続は議会棟3階及び4階で、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入するだけです。なお、傍聴席には限りがありますので、団体の場合はあらかじめ議会事務局までご連絡ください。

【6月定例会の予定】

- 6月5日(金) 本会議=会期の決定、議案提案説明など
- 8日(月) 本会議=議案に対する質疑、委員会付託など
- 11日(木)・12日(金) 本会議=一般質問
- 15日(月)・16日(火) 委員会=常任委員会(総務文教・市民福祉・経済建設)
- 22日(月) 本会議=表決

☆本会議は午前10時開会予定です。会議の日程、時間等は変更になることがあります。
☆一般質問の通告順位表は、6月3日(水)から市のホームページでご覧いただける予定です。
(<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp>⇒ページ下部の市議会をクリックしてお入りください。)